

膵臓癌患者に対する術前リハビリテーションの介入が術後の身体機能に及ぼす影響

1. 研究の対象

2016 年 1 月～2020 年 12 月に当院で膵臓癌に対する術前補助療法後に手術が行われた方

2. 研究目的・方法

近年、術前の筋肉量減少や運動機能低下の存在が術後合併症の発症率や死亡率を悪化させることが報告されており注目されています。そのような状況をふまえ、膵臓癌患者さんにおいても術前補助療法が行われている段階から、筋肉量や運動機能を維持または向上させる目的でリハビリテーション介入が当院で行われるようになってきました。当院における介入は運動療法が主体でありその効果はまだ検討段階であります。そこで、本研究は膵臓癌術前補助療法中のリハビリテーション介入が術後の身体機能に及ぼす影響を調査することを目的としました。

【研究期間】

倫理審査委員会承認後から 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、病歴、合併症等の発生状況、運動機能評価、リハビリテーション実施状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪国際がんセンター リハビリテーション科 木下 翔太

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181 (代表)